

第5回

SCHOLARONE
MANUSCRIPTS[™]
ユーザーカンファレンス

参加費無料

定員100名

テーマ

学術ジャーナルの
質と価値の向上のために

日時

2016年10月18日 火

14:00~17:30 質疑応答・意見交換会 17:30~19:00
(受付13:30~)

会場

秋葉原コンベンションホール

東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル2F

- JR秋葉原駅：徒歩1分
- 東京メトロ銀座線 末広町駅：徒歩3分
- 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅：徒歩4分
- つくばエクスプレス 秋葉原駅：徒歩3分

主催



THOMSON REUTERS



KYORINSHA



詳しくはWebで

杏林舎

検索

<http://www.kyorin.co.jp/sem/>

ユーザーカンファレンス
開催事務局



株式会社 杏林舎

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10

TEL 03-3910-4311

E-mail seminar@kyorin.co.jp

URL <http://www.kyorin.co.jp/>

Wiley社による 査読に関するオンライン調査結果 査読者の望むインセンティブとトレーニング

Wiley社が世界各国の論文著者を対象に、論文の査読 (peer-review) に関する大規模なオンライン調査を実施し、まとめた結果を解説します。

ワイリー・パブリッシング・ジャパン株式会社
八幡 智雄

ジャーナル制作を通じた 研究者支援の原点

Web of Scienceを使い、論文の被引用数を調べたり、文献相互の引用関係をたどることで、研究者が必要な文献を検索できるのみならず、研究分野の動向までも把握できます。このようなデータを活用して、ジャーナルを、研究者コミュニティにより貢献できるものとする方法を考えましょう。

トムソン・ロイター：棚橋 佳子

杏林舎が考える シームレスフロー

論文の投稿から公開まで、S1Mから入稿した後の制作・公開工程をシームレスに行うフローをご提案します。

SCHOLARONE MANUSCRIPTS™

S1Mに設定可能なオプション機能

S1Mに設定できる査読依頼の便利機能と外部サービスを利用したオプション機能をご紹介します。

S1Mでの査読実績と評価について

S1Mを利用した査読を評価する機能と査読実績を外部サービスへ送る機能についてご紹介します。

S1Mのバージョンアップについて

S1Mの最新情報をご紹介します。

J-STAGEの新しい画面インターフェース 「J-STAGE評価版」のご紹介

現在、試験的に公開しております、J-STAGEの次期開発に向けて画面インターフェースを一新した「J-STAGE評価版」をご紹介します。

国立研究開発法人 科学技術振興機構：藤田 隆

ジャーナルの国際発信力 強化に向けて

トムソン・ロイター：増田 智子

国際競争力・発信力向上のためには、影響力の高い魅力的な論文を掲載し、潜在的な読者を含む、その情報が必要としている人に論文を知ってもらうことが重要となります。メールサービスWeb of Science Author Connectをご紹介します。

オープンアクセス化において標準手段として採用されている「クリエイティブ・コモンズ」の概要とメリット・デメリットなどをわかりやすく解説します。

クリエイティブ・コモンズ・ジャパン理事／弁護士：水野 祐

オープンアクセスとクリエイティブ・コモンズ

Journal of Occupational Health (JOH)の取り組みと成果

学会誌の質と価値を向上させるために取り組んできた編集の活動とその成果について報告します。

北里大学医学部公衆衛生学教授、日本産業衛生学会編集委員長：堤 明純

質疑応答・意見交換会

ユーザー同士の情報交換、活用例：参考画面パネル展示など、普段なかなか接することのできない他ジャーナルの編集ユーザーと交流をしていただけます。 17:30~19:00

ぜひご参加ください！